月刊誌『統計』について

『統計』は、様々な分野における統計の研究、教育、実務に携わる方々を主な読者層とする統計の総合誌です。身近な話題に関する統計分析や解説を掲載し、統計をこれから学ぶ人にも親しみやすい内容とするよう努めています。

現在、『統計』は、主に次のような内容で構成されています。

特集

社会で関心の高いテーマについて、各分野の専門家による統計分析の論文を数編掲載

統計ウォッチング

時事問題を統計で分析した論考を掲載

統計専門機関を訪ねて

統計学・データサイエンスについて先端的な取組みを行う大学・研究機関などを紹介

連載

統計の利用・分析・指導法など、幅広いテーマで連載

英国王立統計学会Significanceから

イギリス王立統計協会発行の著名な統計の総合誌「Significance」の中から、身近な話題を統計的観点から平易に論じた興味深い記事を選び、抄訳と解説により紹介

その他

統計の優れた利活用事例、最近の統計を巡る話題、統計の新刊書の書評などを掲載

※ 本誌に関するご意見・ご要望などありましたら、『統計』編集部にお寄せください。

（『統計』編集部：tokei@jstat.or.jp）

『統計』編集委員会

編集委員長	川崎　茂	滋賀大学特別招聘教授、一般財団法人 日本統計協会理事長
編集委員	稲葉圭一郎	一橋ビジネススクール国際企業戦略専攻（ICS）特任教授
	乾　友彦	学習院大学副学長・国際社会科学部教授
	金子　隆一	明治大学政治経済学部特任教授
	椿　広計	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構統計数理研究所長
	井波　哲尚	一般財団法人 日本統計協会専務理事
編集協力	小松　聖	総務省統計局
	田村　彰浩	総務省統計局

一般財団法人 日本統計協会について

■（一財）日本統計協会は、統計の発達・普及に貢献することを目的とする非営利法人です。
国の統計報告書、月刊誌『統計』や 統計教育用テキスト（中学、高校、大学、社会人向け）などの統計書籍の出版のほか、統計データ分析コンペティションなど、統計の普及・啓発に関する活動を行っています。

■当協会は、明治初期に設立された二つの学術団体を前身としています。一つは、明治９年（1876年）に設立された「表記学社」（その後、統計学社と改称）、もう一つは明治11年（1878年）に設立された「製表社」（その後、東京統計協会と改称）です。いずれも、統計の普及・発展を目的として有志により設立されたものです。
昭和19年（1944年）、東京統計協会と統計学社は統合されて大日本統計協会となり、さらに昭和22年には財団法人日本統計協会と改称されました。平成25年（2013年）、政府の公益法人制度改革により一般財団法人となり、現在に至っています。